東北日日新聞

年中無休刊

本紙一ヶ月三十錢 郵税一五錢一部三錢
廣告料一行五〇錢 場所指定二〇錢增
發行兼編輯印刷人 横山顯
發行所 福島縣石城郡平町白銀町十番地 東北日日新聞社 電八三

## 社説

小名濱町に政民二大政黨を超越して公友會が生れるに到つた。

來る十日の發會式には政友會本部から砂田、木暮胎中三代議士が來濱して大演說會を開催することになつた。

小名濱町が擧町一致して商港、平小鐵道の實現のために公私の財源を盡して多年奮鬪してきたのであるが、目途を貫徹してホツと息吐く間もあらばこそ、濱口內閣の緊縮政策に祟られ、槍玉にあがつて甚だ心細い狀態におかれることになつたのである。

前縣議たりしことも商港といふ目的があつたのであるまいか、その他いろいろの意味に於て無限の財力を投じて盡力して來た小野晋平氏などは、巷間種々の取沙汰などを超越して、實に小名濱町に執つて最高の殊勳者でもあり、恩人でもある。

その他政友會系統の諸有力家諸君が、無限の價値を有する骨身を捧げて、商港と鐵道とに十年一日の盡力をして來た。

然るに、民政黨系の昭和會といふ團体は黨勢擴張のためには町自体の利害をも無視して、悉く反對せんがための反對をして來たのである。

順調な發達をすべき各種事業も、凡ての計劃も反對すべき理由なくして反對して來た。

黨略的野望を抱くものゝ集合体である、昭和會は町の進展に障害となつてゐるといふ町民の自覺せる結果として生れたのが公友會である。

經濟的卓見なき人の眼底に映ずる小名は實に沒落の過程を行く者の姿であるのである。

新らしく生きやうとする一途は、商港と平小鐵道との實現に依るに非ずんば、到底永久に救濟されないであらう經濟的に沒落しやうとする小名濱町を、その過程から引戻そうとする新結成が必要とされる、その要求が産み落したものゝ名こそ、公友會である。

政黨的な偏見と、感情とを捨て、小名町のために奮起したもの即ち公友會である。

目的のために凡てを捨てゝ健全なる發達をせんことを希望する。

---

## 上小川地內から
## 石器土器を發掘
### 石斧矢根石等も發見され
### 近く縣古蹟調査員が出張

石城郡小川村大字上小川字門平松本兼吉氏所有畑地から最近盛んに石器時代の遺物を掘出し地方考古家の間に研究資料として喧傳さるゝに至つたが既に發掘せるは石斧六點石劍一口矢ノ根石八十餘個ありこの外士器數點等でこのほど石城高等女學校より只野、山口、佐藤の三訓導その他同地に出張附近發掘の結果矢ノ根石三十八個および土器の片を蒐集する事が出來たが同所は平郡線小川郷川前間の江田信號所附近に位し往古の館跡らしく土臺石とも推察さる礎石數十個が叢らの中に散在してゐると倘縣古跡調査委員が近く出張調査をとぐる筈である

---

## 花盛りに
## 忠魂祭擧行
### 來る十日松ヶ岡で

石城郡出身二百四十八名の戰病ぼつ者の靈を弔ふ忠魂祭は十日午前十時から平町松ヶ岡公園滿開の花の下に町村長會軍人聯合分會主催で擧行する事になつたが劍道、銃劍術、弓術の奉納試合がある筈尚ほ福島聯隊區司令部より佐藤司令官が列席すると

---

## 三代議士を迎へ
## 公友會發會式擧行
### 小野晋平氏が發起となり
### 來る十日小名濱町に於て

石城郡小名濱町公友會は小野晋平、飯塚榮一の兩氏が發起となり來る十日午後一時から同町小名濱座に於て發會式を擧行するが當日は石城政友部會より鈴木縣會議員外常任幹事數名が應援のため出張する本部からは砂田、木暮・胎中の三代議士が臨席し大熱辨を振ふ筈

---

## 若い女と男が二組
## 平潟海岸で情死か
### それとも狂言逃亡か
### 八幡神社境內の遺留品

茨城縣多賀郡平潟町八幡神社々掌鷹岡善積氏が二日午後二時ころ境內なるビシヤ門天東側平潟灣に面した高さ八十尺位の斷がい芝生の上に黑シス伊達卷、ヒ羽二重絞帶あげ、ゴム櫛、赤皮ガマロ（三味線糸七本在中）女の頭髮、ブリキ製卷煙草入、黑皮ガマロ（質札數枚入）その他大津町大津館、平潟町住吉屋等で飲食せる勘定書二枚在中等多數遺棄しあるを發見平潟警部補派出所へ屆出たが同所はこれまで數人の投身自殺者あり俗に魔の淵と稱せられてゐるので該品も自殺者の遺留品として大津警部補現場取調中同日夕刻家出人搜索のため石城郡湯本町藝妓置屋業高萩佐久馬外數名が來町所持し來つた遺書と該遺留品によつて同家抱ひ藝妓金太郎事手塚アサ（二〇）同豆太郎事佐藤梅子（一七）湯本町信用無盡組合集金係緑川益雄（二一）同町文化堂書籍店主森茂（二三）の四名と判明した同人等はかねてから馴染を重ね本月一日しめし合せて出奔したもので男より兩親に宛た手紙には

御心配かけて濟みません私達二人は到底添ふこともなりません、彼の世で樂しい生活を致します、先だつ罪は何卒お許し下さい。

女から抱ひ主宛に

永らくお世話になりました私達は遠い〳〵旅路に急ぎます、御迷惑かけてさぞ〳〵御立腹でせう、草葉のかげから御詫び致します

とあり取調べの結果同日午後六時ころ平がた町に至り旅館住吉屋鈴木久助方にて四圓三十錢相當の飲食をなし遺書は同家にて認め投函したもので前記斷がいより魔の淵へ投身せるものゝ如くであるが海濱一帶搜査の結果僅かに男物下駄一足漂流せるを發見したるのみ皆目判明せず當日所持してゐたといふ蛇の目傘三本も見當らない處から投身自殺を裝ひ相携いて何れへか高飛びを企てたものでないかといはれてゐる

---

## 小學校教員の
## 檢定試驗
### 來る十五日より

石城教育部會の小學校教員檢定試驗は來る十五日より五日間平第一小學校に於て行はれると

---

## 法人の税額
### 三割五分の激減

平税務所の調査した所によると同所管內の昭和四年度法人所得税は百八十八社のうち七六社の不課税を除き百二社でその税額は一萬二千二百九十一圓で營業收益税は八千五百三十五圓であるがともに前年に比較すると三割四五分の激減を示してゐるこれは業務縮少のためと收益の不足を來たしたものであると

---

### ▲壯丁トラ檢診

平町では本年度壯丁に對し七日午前九時より役場にてトラホーム檢診を施行する由

---

濟風ピリン

本劑は過去十有餘年の歷史ある藥劑にて發賣以來白熱的好評あり是れ即ち神効ある由以なり

効能

かぜ。流行性感冒。頭痛。齒痛。神經痛。ロイムチス。其の他熱性諸病。

定價 二十錢 三十錢 五十錢

製藥發賣元 水野藥局
平町一丁目

オートバイ
自轉車商
部分品
織田自轉車店
電話五三二番

三十六佳選
人氣投票券

勸業債券
復興債券
兩替
金融
多田井質店
電話八六九

# 創刊一週年記念
# 人氣投票
## 本日正午まで到着の分

### 篤志家

| | |
|---|---|
| 三二〇票 | 山崎與三郎 |
| 一五〇 | 佐藤三平 |
| 一〇〇 | 安島重三郎 |
| 九〇 | 江尻博孝 |
| 七〇 | 小林成次 |

### 宗教家

| | | |
|---|---|---|
| 二六五 | 松堂院性源寺 | 宍戸正勝 |
| 二三〇 | 九品寺 | 遠藤心光 |
| 一八五 | 菩提院 | 桐原英純 |
| 九五 | 欣淨寺 | 加藤隆瑞 |
| 七〇 | 普門寺 | 清水澄香 |
| 五〇 | 大寶寺 | 小林智興 |
| 四五 | 良善寺 | 柳田悅巖 |

### 料理店

| | |
|---|---|
| 二〇〇 | 炭屋 |
| 一五五 | 谷口樓 |
| 一五〇 | 大貞 |
| 一二〇 | やぶ |
| 一〇〇 | ときわ |
| 九〇 | 大和家 |
| 七〇 | 尼子亭 |
| 六〇 | 松本樓 |
| 五七 | 一力 |
| 五五 | 末廣 |
| 五〇 | 魚榮 |
| 三〇 | 一の井 |
| 二〇 | 三益 |

### 藝術家

| | | |
|---|---|---|
| 三三五 | 尺八 | 谷口鹿童 |
| 一七〇 | 琴 | 新妻佐喜柱 |
| 一七〇 | 彫刻 | 本田朝忠 |
| 一二四 | 童話 | 川崎小鳥 |
| 九三 | 畫家 | 安藤廣吉 |
| 四五 | 琵琶 | 大原錦陵 |
| 六〇 | 長唄 | 杵屋彌壽千代 |
| 二六 | 池之坊 | 深見霞鏡 |
| 二三 | 童謠詩 | 島田忠夫 |
| 二〇 | 辯士 | 石井孝 |

### 政治家

| | |
|---|---|
| 二三〇 | 鈴木辰三郎 |
| 二〇〇 | 中澤光彌 |
| 一六五 | 比佐昌平 |
| 一三五 | 伊藤淺之助 |
| 一二〇 | 小野晋平 |
| 九〇 | 荻原義雄 |
| 六二 | 佐々木龍若 |
| 三五 | 高岡唯一郎 |

### 商店

| | |
|---|---|
| 二三五 | ツルヤ |
| 二三〇 | 三井呉服店 |
| 一五九 | 釜屋商店 |
| 一四〇 | 丸ほん |
| 一二八 | 大谷時計店 |
| 九八 | 山城屋 |
| 九〇 | 中野呉服店 |
| 九〇 | 大黒屋商店 |
| 五四 | 和久井屋 |
| 二一 | 山野邊藥局 |
| 一四 | 郡司米店 |

### 運動家

| | | |
|---|---|---|
| 三一〇 | 乘馬 | 加藤丈夫 |
| 二八〇 | 卓球 | 山田勇太郎 |
| 二〇〇 | 陸上 | 花澤輝一 |
| 一五二 | 庭球 | 奥津昌 |
| 八四 | 庭球 | 大坪光夫 |
| 七五 | 野球 | 織田安次郎 |

### 教育家

| | |
|---|---|
| 三六〇 | 酒井ミヨ |
| 一七〇 | 清野キヨ |
| 一四六 | 鷹崎チヨ |
| 一四五 | 藤田榮助 |
| 一三五 | 大和田豐吉 |
| 二三 | 曾我直治 |

### 請負師

| | |
|---|---|
| 一九二 | 丸山喜一郎 |
| 一七〇 | 佐々木健一郎 |
| 一四三 | 荒川銀治 |
| 一一三 | 前澤文太郎 |
| 一〇五 | 猪狩菊三郎 |
| 一八三 | 田中宜治 |
| 七九 | 中山吉之助 |
| 七八 | 只野忠康 |
| 五五 | 渡邊長作 |
| 二五 | 赤塚兼助 |

### 釀造家

| | | |
|---|---|---|
| 二六〇 | 鶴仙 | 松吉屋 |
| 一三七 | 小錦 | 和泉屋本店 |
| 一〇三 | 由良之助 | 永山和平 |
| 一〇〇 | 近盛 | 馬目合名會社 |
| 七一 | 稻妻 | 古川傳一 |
| 七〇 | 花の友 | 山崎元三郎 |
| 五一 | 福美 | 四家又一 |
| 四七 | 白馬の雪 | 松本德一 |
| 三三 | 三國一 | 渡邊貞三 |

### 實業家

| | |
|---|---|
| 三四〇 | 諸橋守治 |
| 二四五 | 江口忠一 |
| 二一五 | 關内正一 |
| 一八五 | 阿部政右衛門 |
| 一四三 | 金成通 |
| 一三五 | 高橋龜松 |
| 一二五 | 山崎清三 |
| 一三〇 | 小野晋平 |
| 一〇一 | 山崎登 |
| 七〇 | 武田精一 |
| 二五 | 馬目武之助 |

### 醫師

| | |
|---|---|
| 三六〇 | 藤沼平次郎 |
| 三二九 | 川井重之 |
| 二九二 | 高久忠 |
| 二七三 | 大和田郡司 |
| 二七一 | 川井安子 |
| 一六五 | 清水廣政 |
| 一六一 | 加澤忠治 |
| 一三一 | 原精一 |
| 一一八 | 金成忠義 |
| 一一一 | 上田耕作 |
| 二〇〇 | 赤羽清 |
| 九六 | 大森勇 |
| 九三 | 難波睦 |
| 八四 | 木村守江 |
| 五五 | 藤本順 |
| 三三 | 木村淳 |

新學期!!!
學生靴大賣出し
自製靴…お買ひ上げに…粗[illegible]呈上
無駄な宣傳や手數を省き
絶對責任……誠實廉賣！
弊店の特色
一、原新精選たる堅牢無比
二、特別なる製法と卓越せる型
三、御名前が記入できます樣考案
四、靴一代底金ウチ替代金無料
實物のう試足によりて眞價を求められよ！
平田町　大塚支店製靴部へ
電話七〇二番

別府温泉より生れた
の靈藥
温泉エキス
（一名あんまいらず）
定價　壹圓五拾錢
神經痛
リウマチス
肩のコリ
腰のイタミ
凍傷
過勞性節痛
◎皆樣是非お試し下さいませ
此外用温泉エキスは今迄且つて世の中に無かつた
神秘的の妙藥であります連續使用しまして
も副作用がありませんのと効力が確實な事とは他
藥品のひではありません
△萬病に靈効ある別府鑛水
定價　中瓶一圓　德用一升瓶三圓
平町五丁目
一手販賣店　山野邊藥局
一、藥事衛生の相談は弊局へ
一、仁丹體温計フエバー體温計特約店

家傳
リン病消カチの妙藥
東京　峰岸淋丹　分舗
平町南町火の見下
一週間分金二圓七十錢二週間金五圓三週間金七圓
御申込次第密送す